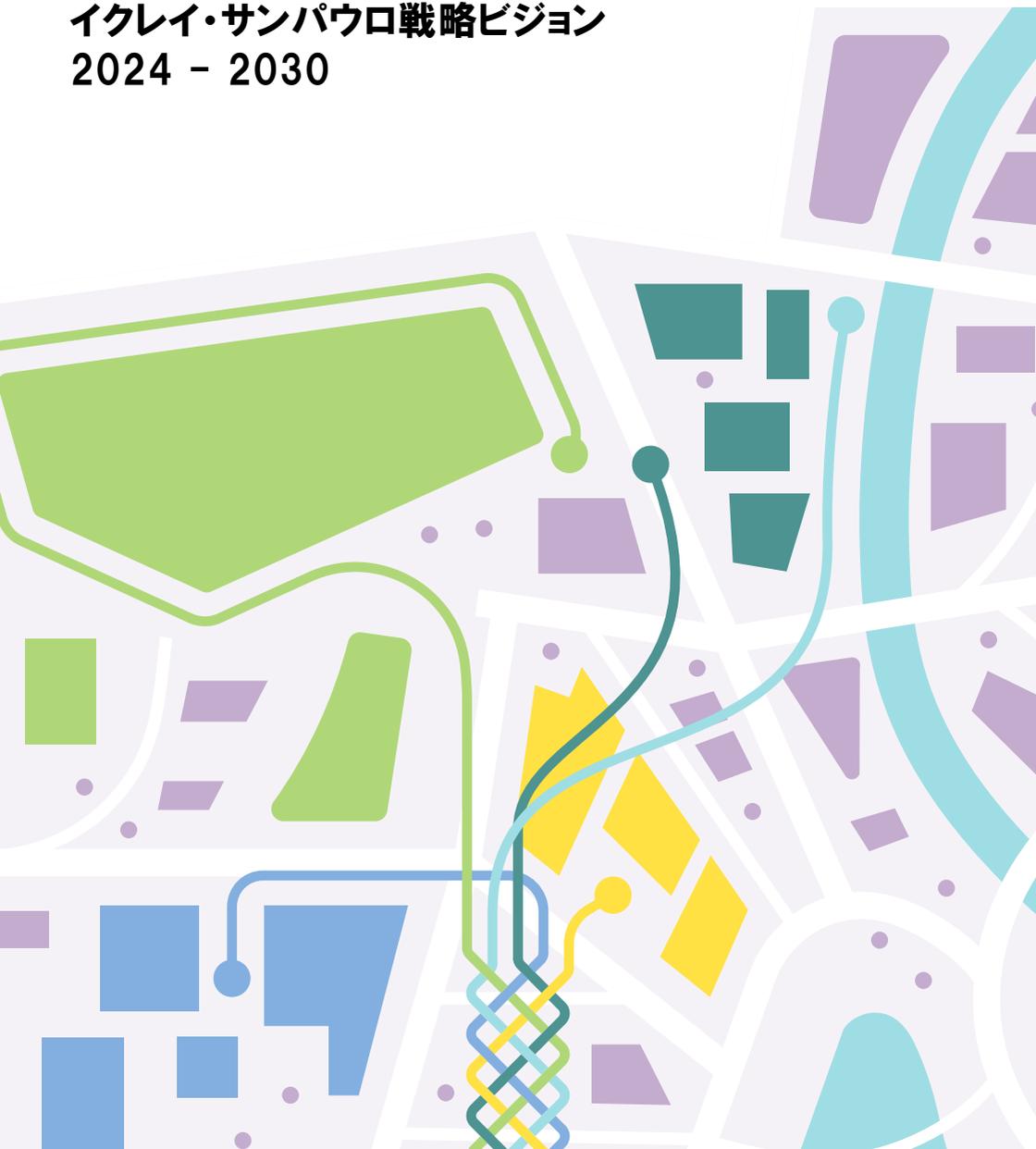


変化する世界 における私たちの ネットワークの力



イクレイ・サンパウロ戦略ビジョン
2024 - 2030



目次

はじめに.....	4
ICLEI (ICLEI) – 持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会について.....	9
ICLEIのグローバル・リーダーシップ.....	11
ICLEI世界理事会 2024 - 2027	12
ICLEI議会 2024 - 2027	14
ICLEI・スタッフ.....	18
ICLEI・サンパウロ戦略ビジョン 2024 - 2030	22
決定的な10年をナビゲート.....	24
ICLEIのコミットメント:すべての人にとって持続可能で、レジリエントで、包摂的で、安全な都市、町、地域.....	26
5つのパスウェイ(道筋)による持続可能な発展.....	30
グローバルな目標を地域の現実に置き換える.....	33
公平公正な発展.....	35
ゼロカーボン発展.....	38
自然を基盤とした発展.....	40
循環型発展.....	42
レジリエントな発展.....	44
共通の利益のためのグローバル・アドボカシー.....	46
最後に.....	52

PUBLISHER



ICLEI – Local Governments for Sustainability e.V.
Kaiser-Friedrich-Strasse 7, 53113 Bonn, Germany
<https://iclei.org/>

COPYRIGHT

©2024 ICLEI - Local Governments for Sustainability e.V. All rights reserved. The ICLEI World Secretariat holds the copyright of this publication, including text, analyses, logos and layout designs. Requests to reproduce or to quote material in part or in full should be sent to media@iclei.org. ICLEI encourages use and dissemination of this report, and permission to reproduce this material without modification will usually be permitted without charge for non-commercial use.

CITATION

This publication should be cited as: "ICLEI - Local Governments for Sustainability, 2024. The Power of Our Network in a Changing World: The ICLEI São Paulo Strategic Vision 2024 - 2030. Bonn, Germany."

PHOTO CREDITS

Photos from: ©Shutterstock (pp. 7, 8-9, 25, 56), ©ICLEI (pp. 17, 34, 46-47), ©Unsplash (pp. 21, 29, 51, 52-53, 55), ©City of São Paulo (p. 22-23)

はじめに

私たちは劇的な変化に直面しています。

前例のないグローバルな変化の時代において、都市、町、地域等コミュニティとそのリーダーは、壊滅的な気候変動、生態系の崩壊、深刻な公害、人口動態の変化、急速な技術進化など、複雑で多面的な課題の最前線にいます。

これらの問題は、都市生活の基盤を脅かすだけでなく、レジリエンスを構築し、制度的不公平に対処し、イノベーションを活用するために、あらゆるレベルの政府において断固とした行動が緊急に必要であることを意味しています。粘り強さと協力の拡大、そして真剣な政治的なコミットこそが、持続可能で、包摂的で、ゼロ・エミッションで、レジリエントな未来を創るために必要な変革を実現することができます。

世界経済フォーラムの「グローバルリスク報告書2024年版」は、これまでの報告書に基づき、気候変動、生物多様性の損失、天然資源不足を、今後10年間に人類が直面する最大のリスクとして特定しています。また、気候変動と生物多様性の損失が相互に関連していることも強調しています。この重大な存亡の危機は、社会と生態系への不可逆的なダメージを回避するために、早急かつ協調的な取り組みを必要とするものであり、全人類にとって「私たちが知る生活」を劇的に変えてしまう非常に現実的な可能性を示しています。

さらに、国連事務総長のアントニオ・グテーレス氏が2020年の地球状況に関する画期的な演説で、自然との調和を実現することが「21世紀の決定的な課題」になると述べたことも忘れてはなりません。2023年の記録的な熱波、洪水、暴風雨は、私たちが自然との調和を築かなければ、将来どのような事態を招くかを警告しています。都市化の加速に伴い、都市のインフラやサービスに対する圧力は著しく高まり続けています。現在利用可能な科学モデルに基づく将来シナリオの一例として、2024年国連開発計画(UNDP)の動向報告書は、2050年までに2,500万人から10億人の「気候移民」が発生すると推定しています。

私たちは、都市化する世界において劇的な変化に直面しています。イクレイのような数十年の歴史を持つネットワークに支えられた地方自治体は、既存および新興の都市部を、機会、インクルージョン、学習、イノベーション、そして最も重要な持続可能性の象徴へと変えていく上で、重要な役割を担っています。

私たちの都市、町、地域は、持続不可能な生産と消費に対処し、すべての人に対して社会的・文化的関与と包摂を促進し、環境に配慮した新しい地域経済を変革・強化し、気候変動と天然資源の劣化の影響に対処する政策と取組を率先することによって、野心的かつ迅速に、意義ある変化を推進することができます。またそうしなければなりません。

私たちの都市、町、地域は、持続不可能な生産と消費に対処し、すべての人に対して社会的・文化的関与と包摂を促進し、環境に配慮した新しい地域経済を変革・強化し、気候変動と天然資源の劣化の影響に対処する政策と取組を率先することによって、野心的かつ迅速に、意義ある変化を推進することができます。またそうしなければなりません。

都市や地域は、構造的な課題や不公平感といった日々の現実と直面しており、前進する道は容易ではありません。しかし、過去の成功を土台とし、既存の枠組や取組を強化することで、コミュニティと自然が繁栄する持続可能な都市の未来を創造することは可能です。実際、多くのイクレイ加盟自治体は、持続可能性に向けたその道が実現可能であるだけでなく、すでに大きく進展しており、私たちが共有する都市の未来を積極的かつ根本的に再構築していることを示しています。

2012年のリオ+20に始まる過去10年間、持続可能性のコミュニティは、パリ協定、昆明・モンテリオール生物多様性枠組、持続可能な開発目標や都市アジェンダへのコミットメントの確認、都市化のより包括的な視点の採択など、変革的な節目を目の当たりにしてきました。この10年は、個別の取組から脱却し、環境、開発、都市化の課題が相互に関連していること、そして限りある地球の限界(プラネタリーバウンダリー)を尊重した公正な移行の必要性を強調しました。

これらの努力において、地方自治体が重要なパートナーであることが世界的に認識されるようになっており、リーダーたちは、マルチレベル・ガバナンスとマルチステークホルダー・パートナーシップを通じて、世界を持続可能な方向に導く上で、地方自治体の影響力のある役割と責任を認識しています。

イクレイは、拡大する地方自治体のネットワークと協力し、地域の声を高め、より野心的な持続可能な政策や法的枠組への変革を推進し、公平性、多様性、包摂性を促進し、資金を動員し、地域からグローバルへの積極的なパートナーシップに投資を行い、地方や地域の行動を推進するための広範な連合を構築しています。

イクレイ・サンパウロ戦略ビジョン2024-2030は、イクレイが掲げる5つの持続可能な都市の発展的なパスウェイ(ゼロカーボン、自然基盤、公平公正、レジリエント、循環型)を定着させ、完全に実施することで、イクレイネットワーク内の地方自治体の行動を加速させる重要な役割を果たします。

私たち、イクレイネットワークの自治体は、各国政府、大切なパートナー、そして多国間コミュニティとともに、勇気と配慮、そしてコミットメントをもって前進し、全人類が未来に希望を抱けるようにすることを約束します。



イクレイ世界事務局長 ジノ・ヴァン・ベギンか らのメッセージ

前回、イクレイが2021年に戦略ビジョンを発表したとき、私たちはまだ新型コロナウイルスのパンデミックという、世界の隅々にまで影響を及ぼした壊滅的な不安定な状況に置かれていました。

しかし、この背後には、地球規模の気候変動、生物多様性の損失、そして世界を不安定にしている持続不可能な傾向の影が既に潜んでいました。

持続可能な発展に取り組むイクレイネットワークは、こうした脅威に対抗する手段として機能します。私たちは、地方と地域の持続可能な発展が地球規模の課題に対する重要な解決策のひとつであると考えています。

イクレイネットワークの都市、町、地域は、多くの分野で道を切り拓き、未来の都市化する世界を形作る持続可能な解決策を示しています。これらの都市・町・地域は、共にその力と地域活動における絶対的な必要性を示しています。

多くの点で、これらの都市や地域、そしてそれらを故郷とする人々は、世界の現在と未来を形成しています。これらの都市や地域は、パートナーシップ、相互学習、コミュニティの価値を理解する真のマルチレベル・ガバナンスにおいて、各国政府や国際社会と協力しています。

イクレイは、地域の持続可能性が、世界的な持続可能な開発アジェンダの目標と期待に応えることを確実にするために、ネットワークの強みを最大限活用しています。また、私たちはプログラム、プロジェクト、取組を通じて現場での影響力を拡大し、測定し続けています。

イクレイネットワークは、世界の2,500以上の地方自治体と協力し、小規模都市、大規模都市、急成長都市、広域の都市圏、州、地域を代表しています。イクレイはネットワークとして、都市の多様性と、それに伴う課題と機会を提供しています。



イクレイ・サンパウロ戦略ビジョン2024-2030を通じて、イクレイネットワークの自治体は、持続可能な発展への転換の方向性を打ち出しました。このビジョンは、地方自治体の声を反映したものであり、真に持続可能な都市に何が必要かを示すものです。

イクレイは、地域レベルから始まる活動を通じて、グローバルな変化を生み出すことを約束しています。私たちは共に、先見性のあるリーダーシップを発揮し、模範を示し、積極的かつオープンに知識を共有し、一つの声として発言していかなければなりません。私たちのサンパウロ戦略ビジョン2024-2030は、その約束の重要な一部です。

イクレイ・サンパウロ戦略ビジョンは、地方自治体の声を反映し、真に持続可能な都市のために何が必要かを描いています。

イクレイ(ICLEI)-持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会について

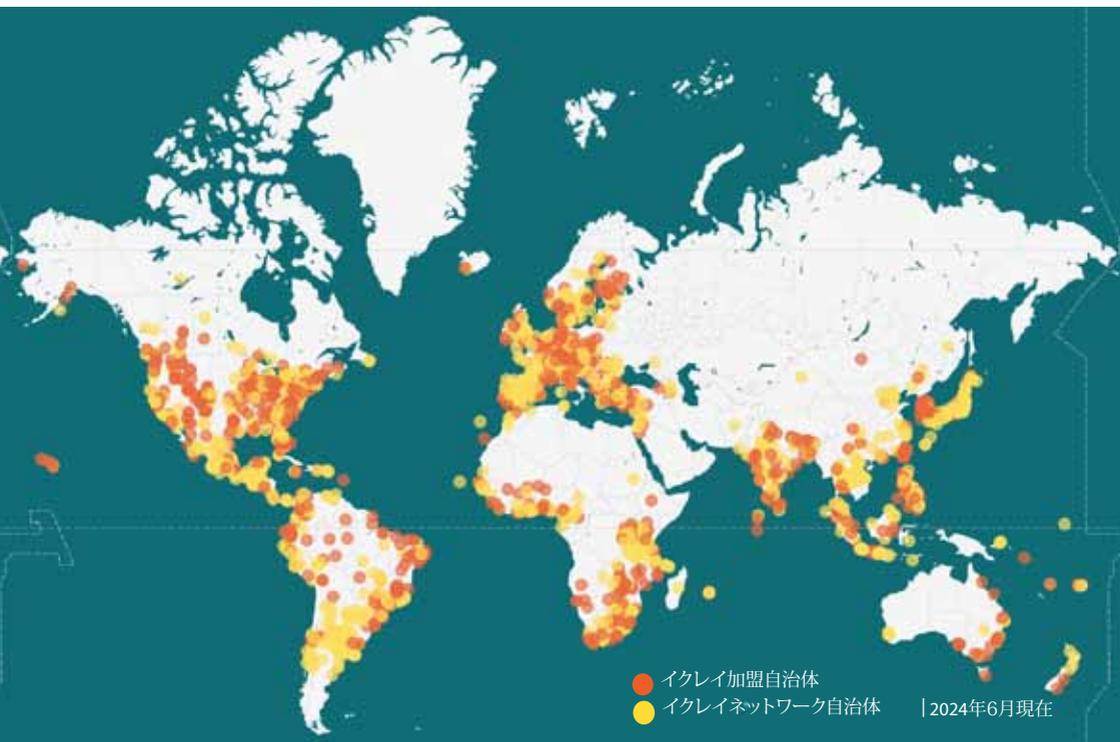


イクレイ (ICLEI) - 持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会は、持続可能な都市開発に取り組む2,500以上の地方自治体からなる世界的なネットワークです。イクレイは125カ国以上で活動し、持続可能な政策に影響を与え、ゼロカーボン、自然基盤、公平公正、レジリエント、循環型の発展に向けた地域の活動を促しています。

イクレイは、国や世界の持続可能性に関する政策に強力な都市の視点をもたらし、これらの政策を行動に移します。私たちは、持続可能性を都市開発に不可欠な要素とし、実践的で統合的な解決策を通じて、都市部に体系的な変化をもたらします。私たちは、急速な都市化や気候変動から生態系の劣化や不公平に至るまで、都市、町、地域が複雑な課題を予測し、それに対応できるよう支援しています。

私たちの会員自治体と専門家チームは、相互交流、パートナーシップ、能力開発を通じて、都市の持続可能性のための体系的な変化を生み出すために協力しています。イクレイは、地方、地域、国、そしてグローバルな政府レベルのつながりを構築します。私たちは、地方自治体の利益を反映した、国や世界の健全な持続可能性に関する政策を提唱します。

イクレイは、持続可能な都市世界を構築するための総合的な取組を通じて、世界の発展の軌道を変えています。



イクレイのグローバル・リーダーシップ

イクレイ議会は、地域レベルおよびグローバルレベルでのイクレイ会員の代表機関であり、世界中の地方自治体の持続可能な社会への取組を代弁します。議会は、イクレイの世界的なアドボカシー戦略において重要な役割を果たすとともに、イクレイの活動における主要なテーマの政治的リーダーとしての役割を担っています。

ガバナンス・メンバー(理事)には、知事、市長、副市長、または選挙で選ばれた議員が含まれます。理事はイクレイの幹部候補であり、3年ごとにイクレイ会員によって民主的に選出されます。彼らは組織の戦略的方向性を導き、3年間の戦略計画や規約の改正を採択し、イクレイの運営を監督する役割を担っています。

イクレイの理事会員は、他の地方自治体のリーダーたちに対して、持続可能性推進の模範を示す強い影響力を持っています。例えば、地方自治体に行動を促し、先駆的で試験的な取組を行い、組織横断的な関係を構築し、持続可能な開発の追求のためにイクレイ会員が努力を継続するよう促します。理事会員は、イクレイのチャンピオンとして、主要な国際機関や組織と積極的に関係を築き、新たなパートナーシップの機会を促進し、主要な国際イベントでの講演を行います。イクレイの設立以来、理事は、世界的な持続可能性という多面的な場において、強力なアドボカシー活動を行ってきました。彼らは、地方自治体の懸念、ニーズ、課題を最前線に押し出し、世界レベルおよび国レベルでの持続可能性の野心を高めるよう働きかけています。

イクレイ幹部



会長

KATRIN STIERNFELDT
JAMMEH
Mayor, City of Malmö,
Sweden



第一副会長

MINNA ARVE
Mayor, City of Turku,
Finland



副会長

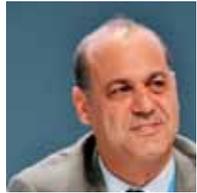
MARJORIE
KAUFFMANN
Secretary of State
for Environment and
Infrastructure, State of
Rio Grande do Sul, Brazil



副会長

MOHAMED SEFIANI
Mayor, Municipality of
Chefchaouen, Morocco

イクレイ世界理事会 2024-2027



MOHAMED SEFIANI
AFRICA
INNOVATIVE FINANCE
Mayor, Municipality of
Chefchaouen, Morocco



DONG YEON KIM
EAST ASIA
Governor, Gyeonggi-do
Province, Republic of Korea



MINNA ARVE
EUROPE
CIRCULAR DEVELOPMENT
Mayor, City of Turku,
Finland



**DATIN SAPIAH
BINTI HARON**
SUSTAINABLE ENERGY
TRANSITION
Mayor, Hang Tuah Jaya
Municipal Council, Malaysia



ALFREDO CORO
BIODIVERSITY
Mayor, Municipality of
Del Carmen, Philippines



ALIX DESULME
SUSTAINABLE MOBILITY
Mayor, City of North
Miami, FL, USA



KATJA DÖRNER
CLIMATE ACTION
GOVERNANCE
Lord Mayor, Federal City
of Bonn, Germany



**JORGE ALEJANDRO
ALDANA BARDALES**
MEXICO, CENTRAL AMERICA
AND THE CARIBBEAN
Mayor, Tegucigalpa,
Municipality of the Central
District, Honduras



JENI ARNDT
NORTH AMERICA
Mayor, City of Fort
Collins, CO, USA



HY WILLIAM CHAN
OCEANIA
Councillor, City of Sydney,
Australia



**IRENE GALINDO
ROMÁN**
RESILIENT DEVELOPMENT
Deputy Mayor,
Municipality of Los
Cabos, Mexico



**AXEL SCHMIDT
GRAEL**
CLIMATE ACTION
SUPPORT
Mayor, Municipality
of Niterói, Brazil



**KATRIN STIERFELDT
JAMMEH**
SUSTAINABLE, CIRCULAR AND
INNOVATION PROCUREMENT
Mayor, City of Malmö,
Sweden



**DIANA
ÜRGE-VORSATZ**
URBAN RESEARCH &
INNOVATION
Vice Chair, IPCC -
Intergovernmental
Panel on Climate
Change, Hungary



**MARJORIE
KAUFFMANN**
SOUTH AMERICA
Secretary of State for
Environment and Infrastructure,
State of Rio Grande do Sul,
Brazil



SMT. NAYNABEN PEDHADIYA
SOUTH ASIA
Mayor, Rajkot Municipal
Corporation, India



**MAR-LEN ABIGAIL
S. BINAY**
SOUTHEAST ASIA
INNOVATIVE FINANCE
Mayor, City of Makati,
Philippines



**REGINA BAKITTE
NAKAZZI MUSOKE**
ADVISOR - CLIMATE
ACTION GOVERNANCE
Mayor, Nansana
Municipality, Uganda



FELIX CREUTZIG
ADVISOR - DIGITALIZATION
Head of working group
Land Use, Infrastructure and
Transport, Technical University of
Berlin, Germany

ICLEI GEXCOM ROLE: REGIONAL SEAT THEMATIC PORTFOLIO SEAT

イクレイ世界理事会 2024-2027

ICLEI GEXCOM ROLE: REGIONAL SEAT THEMATIC PORTFOLIO SEAT

イクレイ議会 2024-2027

アフリカ



ERNEST ARTHUR
Mayor, Cape Coast
Metropolitan
Assembly, Ghana



**REGINA BAKITTE
NAKAZZI**
Mayor, Nansana
Municipality,
Uganda



**CHILANDO
CHITANGALA**
Mayor, Lusaka City
Council, Zambia



**MANUEL
DE ARAÚJO**
Mayor, Quelimane
Municipal Council,
Mozambique



**MOHAMED
SEFIANI**
Mayor, Municipality
of Chefchaouen,
Morocco

東アジア



LIU HER-RAN
Deputy Mayor,
New Taipei City
Government,
Chinese Taipei



SANGHAN KIM
Vice Mayor, Seoul
Metropolitan City,
Republic of Korea



WEISHU LI
Vice Mayor,
Changchun City,
China



KOJI MATSUI
Mayor, Kyoto City,
Japan



DONG YEON KIM
Governor,
Gyeonggi-do Province,
Republic
of Korea

ヨーロッパ



MINNA ARVE
Mayor, City of
Turku, Finland



**MAIDER
ETXEBARRIA
GARCIA**
Mayor, Municipality
of Vitoria-Gasteiz,
Spain



MARTIN HORN
Lord Mayor, City
of Freiburg im
Breisgau, Germany



**LASSE FRIMAND
JENSEN**
Mayor, Aalborg
Municipality,
Denmark



LUÍSA SALGUEIRO
Mayor, Municipality
of Matosinhos,
Portugal

イクレイ議会 2024-2027

メキシコ、中央アメリカ&カリブ



**GINGER M.
MOXEY**
Minister, Grand
Bahama Island,
Bahamas



**MAURICIO VILA
DOSAL**
Governor,
Government of the
State of Yucatán,
Mexico



**JORGE ALEJANDRO
ALDANA BARDALES**
Mayor, Tegucigalpa,
Municipality of the
Central District,
Honduras



**RICARDO
QUIÑÓNEZ
LEMUS**
Mayor,
Municipality of
Guatemala City,
Guatemala

北アメリカ



NIKI ARMACOST
Mayor, Village
of Hastings-on-
Hudson, NY, USA



JENI ARNDT
Mayor, City of Fort
Collins, CO, USA



**BARBARA
BUFFALOE**
Mayor, City of
Columbia, MO, USA



JILLIAN HUDGINS
Board Member, City
of Fredericton, NB,
Canada



IAN MCVHEY
Sustainability
Manager, Regional
Municipality
of Durham,
ON, Canada

オセアニア



**HY WILLIAM
CHAN**
Councillor, City
of Sydney, NSW,
Australia



**FRANCIS F. B.
GREEN**
Chair, Kiribati
Local Government
Association (KiLGA),
Kiribati



NUATALI NELMES
Lord Mayor, City of
Newcastle, NSW,
Australia



ANNA REYNOLDS
Lord Mayor, Hobart
City Council,
Tasmania, Australia



AMANDA STONE
Councillor, City of
Yarra, VIC, Australia

イクレイ議会 2024-2027

南アメリカ



**GERMAN
VLADIMIR
CHONG RIOS**
Mayor, Provincial
Municipality of
Maynas, Peru



**AXEL SCHMIDT
GRAEL**
Mayor, Municipality
of Niterói, Brazil



PABLO JAVKIN
Mayor,
Municipality of
Rosario, Argentina



**MARJORIE
KAUFFMANN**
State Secretary for
Environment and
Infrastructure, State
of Rio Grande do
Sul, Brazil

南アジア



M. ANILKUMAR
Mayor, Kochi
Municipal
Corporation,
India



UGYEN DORJI
Mayor, City of
Thimphu, Bhutan



**SALINA
HAYAT IVY**
Mayor,
Narayanganj
City Corporation,
Bangladesh



**SMT. NAYABEN
PEDHADIYA**
Mayor, Rajkot
Municipal
Corporation,
India

東南アジア



**DATIN SAPIAH
BINTI HARON**
Mayor, Hang Tuah
Jaya Municipal
Council, Malaysia



**MAR-LEN ABIGAIL
S. BINAY**
Mayor, City of Makati,
Philippines



ALFREDO CORO
Mayor, Municipality
of Del Carmen,
Philippines

2022年のイクレイ議会会合、
スウェーデン・マルメ



イクレイ・スタッフ

イクレイは、世界24の地域事務局・事務所に600人以上の専門スタッフを擁し、都市、町、地域に現場での支援を提供し、ガバナンス、金融と経済、気候変動対策、レジリエンスと適応、持続可能なモビリティと貨物輸送、生物多様性と自然、健康、水、フードシステム、循環型開発、調達、デジタル化、持続可能なエネルギー、エネルギーアクセス、

沿岸管理、小島嶼開発途上国、グローバルなアドボカシーと外交、マルチレベル・ガバナンスと協力、人権と公平性、文化と遺産、データとモニタリング、イノベーションと研究、コミュニケーションとナレッジマネジメントといった分野における技術支援と能力開発を提供しています。



イクレイ・シニアマネジメント



GINO VAN BEGIN
Secretary General,
ICLEI World
Secretariat



KOBIE BRAND
Deputy Secretary
General; Regional
Director, ICLEI Africa
Secretariat; Acting
Regional Director,
ICLEI Oceania
Secretariat



EMANI KUMAR
Deputy Secretary
General,
Regional Director,
ICLEI South Asia
Secretariat



SHU ZHU
Regional Director,
ICLEI East Asia
Secretariat



**WOLFGANG
TEUBNER**
Regional Director,
ICLEI European
Secretariat



**EDGAR
VILLASEÑOR
FRANCO**
Regional Director,
ICLEI Mexico,
Central America
& Caribbean
Secretariat



**RODRIGO
DE OLIVEIRA
PERPETUO**
Regional Director,
ICLEI South America
Secretariat



**VICTORINO
AQUITANIA**
Regional Director,
ICLEI Southeast Asia
Secretariat



MEGAN MEANEY
Executive Director,
ICLEI Canada Office



TOGO UCHIDA
Executive Director,
ICLEI Japan Office



YISHENG YANG
Executive Director,
ICLEI Kaohsiung
Capacity Center



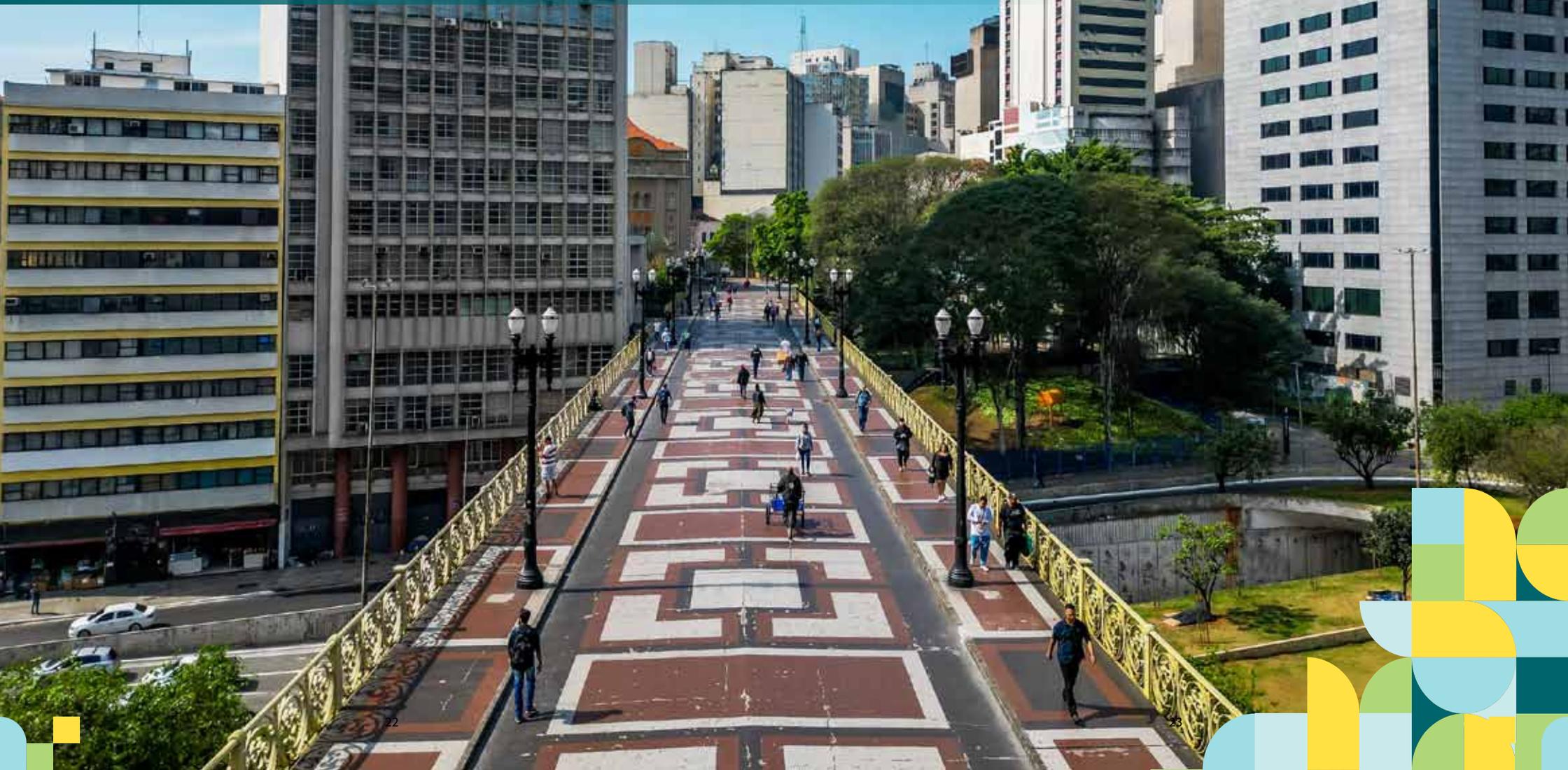
YEONHEE PARK
Executive Director,
ICLEI Korea Office



**SAHARNAZ
MIRZAZAD**
Executive Director, ICLEI
USA Office



イクレイ・サンパウロ戦略 ビジョン 2024 - 2030



決定的な10年をナビゲート

この先のチャンス

私たちは今、気候危機、急速な環境悪化、社会不安の加速に直面し、前例のない世界的非常事態に直面しています。私たちは、人為的な原因による大規模な種の絶滅、深刻な土地の劣化による大きな人口動態の変化、拡大し続ける都市インフラの脆弱性の増大を目の当たりにしており、そのすべてが都市の景観に顕著に現れています。

地方自治体のリーダーや専門家が、都市生活のあらゆるレベルで迅速かつ変革的な行動を起こす必要性が、かつてないほど明白になっています。最近の出来事から明らかのように、こうした影響を最初に感じるのは、都市住民の中で最も脆弱な人々であることが多いです。

2021年に「行動の10年」が始まり、2030年と2050年に向けた国連の持続可能な枠組、特にパリ協定(2015年)、昆明・モントリオール生物多様性枠組(2022年)、気候・自然に関する追加公約、持続可能な開発目標(2016年)、ニューアーバンアジェンダ(2016年)を通じて、私たちは過去数十年にわたって強く提唱してきました。私たちは今、これまで以上に、あらゆるレベルの政府、民間セクター、学術研究機関、市民社会と協力して、グローバルな持続可能な開発アジェンダを実施しなければなりません。

私たちは、人類にとって決定的な10年の半ばを迎えています。世界的な目標の多くは、2030年という厳しい期限を設定しています。ほとんどの目標は、期限内に達成できる見通しが立っていません。今後数年の間に私たちが何をやるかが、さまざまな意味で地球上の生命の未来を左右します。無策がもたらす結果は、私たちの知る生活を変えてしまうでしょう。

社会全体にとって、そして特に私たちのコミュニティに最も近い政府とそのリーダーにとって、その対応は即座かつ断固としたものでなければなりません。今日も明日も、すべての人のために、住みやすく豊かな都市の未来を確保するために、私たちは制度的な不平等と貧困をなくし、技術革新を活用し、共同で創造し、倫理的に実施しなければなりません。

私たちの都市や町は、機会、生活、革新、そして社会的結束をもたらす、活気に満ちた創造的な砦であり続けています。まさに希望と繁栄の場所です。地域のリーダーとして、また地域のリーダーとともに働く者として、こうした希望の聖地が社会経済格差や環境破壊、資源枯渇の戦場とならないようにすることが私たちの仕事です。

歴史は、先見の明があり、親切で包摂的なリーダーシップの下、地域住民の強い決意があれば、私たちの都市や町が速やかに軌道修正できることを示しています。都市を再建し、変革し、変化を起こし、希望の光として生まれ変わらせることができます。都市は変革の原動力となり、人々が自然と調和し、互いに助け合いながら暮らす持続可能な社会へと自ら及び国全体を導く変革の道を切り拓くことができます。



イクレイのコミットメント

すべての人にとって持続可能で、レジリエントで、包摂的で、安全な都市、町、地域

1990年に先進的な考えを持つ都市がイクレイを設立し、持続可能性のための行動を起こしました。それは、持続可能な開発のモデルが主流になるはるか以前のことでした。その出発点は、環境の保護と保全でした。それ以来、イクレイは都市生活のあらゆる側面で持続可能な開発を主流化することに注力し、都市、町、地域に集い、生活し、取引し、働き、共同創造し、余暇を過ごすすべての人々と交流し、発展してきました。

イクレイのネットワークは強力です：イクレイの一員であることは、ポジティブな変化を生み出し、促進するための集合的な可能性を育みます。私たち、イクレイのネットワークは、2,500を超える市町村や地域に広がっており、先見性のあるリーダーや専門家を擁する組織として世界的に認められています。私たちは、持続可能で公平な都市の実現に向けて、互いに刺激し合い、協力し合うことを約束します。

私たちは、楽観的で活力に満ちています。都市、町、地域がいかにして変革のきっかけとなりうるか、また、それぞれが独自の道を歩みながらも、他の都市等の行動や、集団的な行動を重視し奨励するマルチレベルのガバナンス・システムによって、いかに迅速かつ体系的に変革できるかを理解しています。

持続可能な開発に向けた5つのパスウェイ(公平公正、ゼロカーボン、自然基盤、循環型、レジリエント)を指針とする私たちの全体目標は、持続可能でレジリエント、包摂的で安全な都市、町、地域を世界中で創造するために、地方自治体のコミットメントを大幅に増やし、拡大することです。

私たちの全体的な目標は、持続可能でレジリエント、包摂的かつ安全な都市、町、地域を創造するために、地方自治体のコミットメントと規模を拡大することです。

そのために、私たち、イクレイネットワークは次のことを約束します：

- **持続可能な開発に向けた大規模かつ集団的な社会全体およびあらゆる政府の変革を可能にし、**持続可能性を、地域、国、世界のすべての開発および協力の基本要素として、管轄区域内および管轄区域間を越えて定着させます。
- **持続可能な開発戦略を、より基本的、体系的、公正、包摂的かつ公平なものにします。**そうすることで、私たちは、システムとアプローチの弾力性を確保し、人々と地球双方の長期的利益につながる重大な決定を下すことができます。
- 地球のニーズと限界を尊重し、とどまることのない消費と生産のパターンや根深い不平等に対処し、構造的貧困の連鎖を断ち切り、現状に積極的に挑戦する、**持続可能で尊厳ある生活のための新たな共通ビジョンを推進します。**
- **世界的な持続可能な開発のアジェンダに、地域社会の声を届けます。**地域、国、そして世界的な政策は、一から形成され、地域レベルで実施できるように設計されなければなりません。私たちは地域社会に最も近い政府レベルであり、地域社会の人々に手を差し伸べ、彼らの声に耳を傾け、彼らの視点を理解し、彼らのメッセージを世界に広める責任があります。
- **私たちが代表する地域社会の多様性を称え、その中の明確な声と関心に確実に耳を傾けます。**私たちは、行政と地域社会全体を通じて、多様性と包摂性を優先します。人種、肌の色、宗教、信条、性別、年齢、身体的・精神的能力、性的指向の多様性は、強さ、革新性、新しいアイデアの源です。私たちは、不利な立場に置かれ、社会から疎外された人々や年齢層を積極的に取り込みます。
- **世界的な持続可能性を推進するための強力なパートナーシップを促進します。**世界の持続可能な開発目標を達成するためには、国、地域、地方自治体、多国間機関、国際機関、研究開発機関、そして市民社会が協調して行動することが必要です。私たちは、持続可能な開発を共同努力と定義し、あらゆるレベルの政府が世界的な持続可能な開発目標を迅速かつ大胆に前進させるものと位置づけ、資金、能力開発、研究、イノベーション、共創を含む私たちの行動への支援を求めます。
- **地域規模での協力を強化します。**都市、町、郡、そして地域は、都市部、都市周辺部、農村部と密接に結びついており、これらの繋がりに依存しています。特に、私たちの健康、幸福、生計のために欠かせないエネルギー、水、循環型経済戦略、物資や人々の移動など生態系やサービスの重要性を考慮すると、この繋がりは非常に重要です。

- **持続可能なインフラを構築し、すべての人が利用できるようにするため、公共および民間の資金調達源を拡大し、促進させるとともに、持続可能な都市インフラ・プロジェクトがこれらの資源を利用できるようにするための環境と、地方レベルで必要な財政的・技術的能力を創出します。**
- **公共調達が持つ力を持続可能で革新的な製品やサービスの普及を加速させる手段として活用し、労働条件、恵まれない地域社会の疎外、児童労働、公平な取引慣行などの問題に対処します。**
- **持続可能性に関する研究の推進に貢献します。** 地方自治体は、共同研究を指導し、情報を提供し、地域のニーズや実情に基づいた最新の科学的知見を活用することで、都市や地域レベルで効果的な持続可能性戦略を実施することができます。私たちに、目的に合ったデータ、情報、知識が必要です。
- **持続可能なイノベーションを推進し、共創と新たな解決策のための空間を創造します。** 参加型の計画・開発は、共同設計・共同創造の新時代に入りました。私たちは、すべてのステークホルダーと密接に協力しながら、持続可能なイノベーションを、あらゆる分野にわたる影響力のある持続可能な取組に盛り込みます。私たちは、大胆で創造的に、型にはまらずに考えます。

これらの原則を地方や地域の環境に適用することで、私たちは有害な慣習を覆し、格差を埋め、地球との関係を修復し、より健康的で、よりまともで、より公正で、より住みやすい都市、町、地域を世界中に作り始めることができます。

イクレイは毎年、5つのパスウェイ(ゼロカーボン、自然基盤、公平公正、レジリエント、循環型の発展)を通じて、持続可能な発展を実現するため、地方自治体とともに数百もの活動を行っています。
イクレイの活動については、[こちら](#)をご覧ください。



5つのパスウェイ(道筋)による 持続可能な発展

急速に変化する世界における私たちの行動を導き、都市、町、地域を変革するための指針として、私たちは、5つの重要かつ戦略的で相互に結びついたパスウェイ(公平公正、ゼロカーボン、自然基盤、循環型、レジリエント)を通じて行動を推進します。これらのパスウェイは、持続可能な都市開発の基盤となります。

イクレイは、地域レベルにおいて、地域社会のあらゆるセクターが相互に影響し合う5つのパスウェイに沿って変革を推進しています。これらの相互に関連したパスウェイをたどることで、世界中の都市、町、地域は、統合された解決策を開発し、都市システム全体に変化を起こすことで、自らが描く持続可能な未来に向かって前進することができます。活動や実施されるプロジェクトは、主に1つまたは2つか3つのパスウェイによって推進されるかもしれませんが、私たちの目標は常に、5つのパスウェイすべてに影響を与える形でプロジェクトやプログラムを実施することです。

イクレイは、野心的な計画をインスピレーションを与える持続可能な行動に変えるために不可欠な、資金、イノベーション、政治的リーダーシップ、ガバナンスといった重要な要素へのアクセスやメンバーの能力強化を支援することで、変化をさらに加速させます。



公平公正



ゼロカーボン



自然基盤

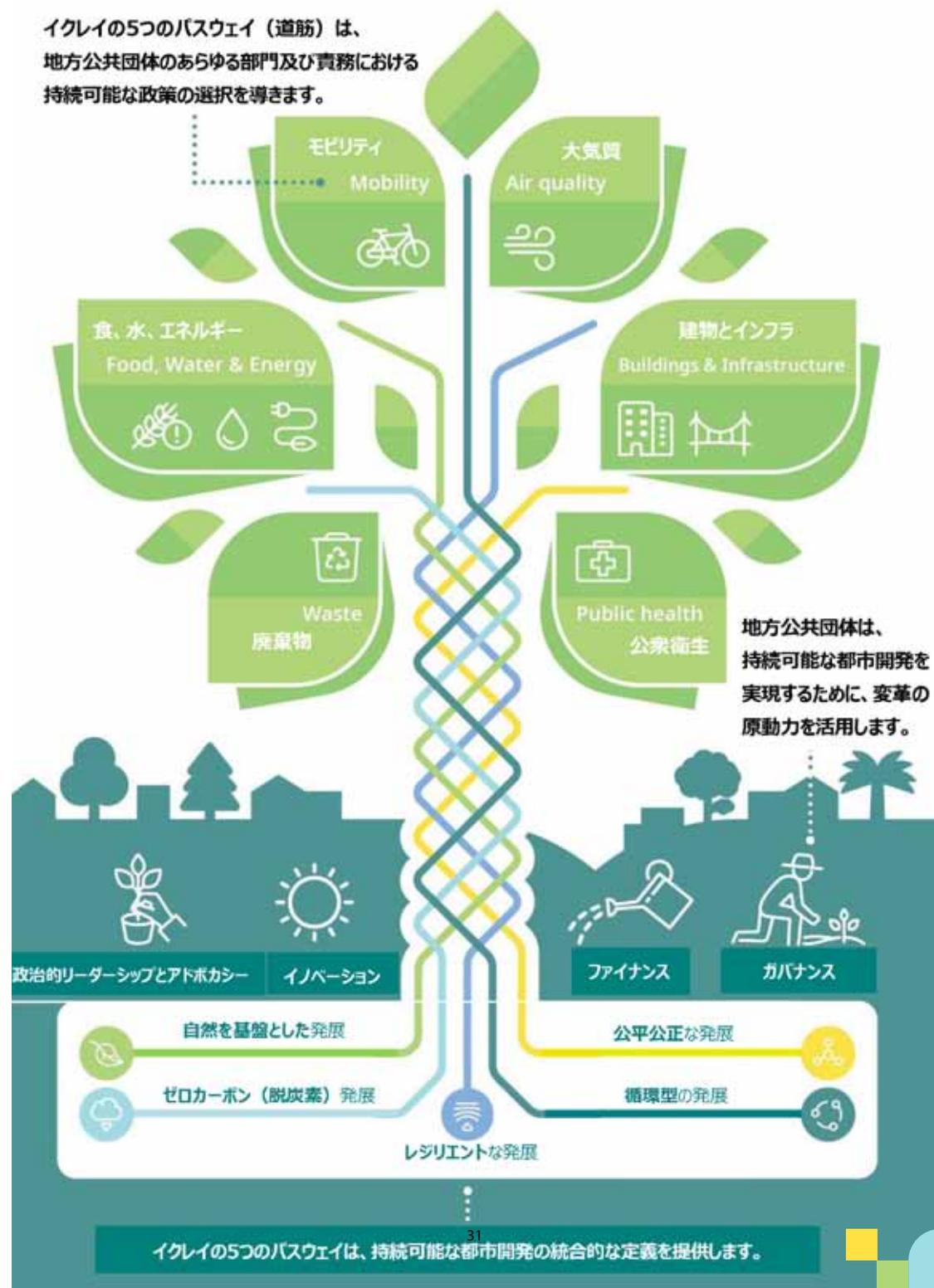


循環型



レジリエント

イクレイの5つのパスウェイ(道筋)は、
地方公共団体のあらゆる部門及び責務における
持続可能な政策の選択を導きます。



イクレイの5つのパスウェイは、持続可能な都市開発の統合的な定義を提供します。

グローバルな目標設定...

2015年国連で採択された17の「持続可能な開発目標(SDGs)」は、イクレイのアドボカシー活動が貢献したものであり、2030年までに人々、繁栄、地球、パートナーシップ、平和のための変革を目指しています。

SDGsは、地球規模の持続可能性を達成するために取り組むべき包括的な分野をカバーしています。しかし、2023年にSDGsの最初の15年間の実施期間が過ぎても、進捗は痛々しいほど遅々として進んでいません。このような停滞が2030年までに成功をもたらすことはありません。実際、貧困、飢餓、健康、教育、エネルギー・レジリエンス(アクセス、安全保障、貧困を含む)、重要な環境目標への取り組みにおいて、私たちはすでに後退しています。

持続可能な現在と未来への移行を推進するためには、地方自治体は極めて重要です。17のSDGsを達成するためには、人とインフラへの多大な投資が必要です。しかし、多くの地方自治体は必要な資金や投資を調達できていません。緊急に必要な都市への投資が年間1兆米ドル以上不足しています。**今後数十年間の需要は、少なくとも数兆ドル規模に達します。**

ゼロカーボン発展

低炭素技術、持続可能なエネルギー、モビリティを推進することで、地方自治体は都市生活の質を向上させながら、温室効果ガスの排出削減に貢献することができます。



公平公正な発展

社会的包摂とすべての人々への経済的機会を優先させることは、気候変動対策が脆弱なコミュニティに利益をもたらすための基本です。



...地域の現実

持続可能な発展に向けたイクレイの5つのパスウェイは、その統合的なアプローチにより、SDGsとグローバルなアジェンダの目的を担っており、各都市が持続可能性と全体的な生活の質を追求し、それぞれの管轄区域にSDGsをローカライズするための入り口を見つけるための優れた手段となっています。

SDGsの原則を政策、制度、規制の枠組に適切に組み込むことで、私たちは一丸となって2030アジェンダのビジョンの実現を加速させることができ、多国間および国内協力が、緊急かつ絡み合ったグローバルな課題を解決できることを示せます。2030年までの残り数年間は、ターニングポイントにならないければなりません。

自然を基盤とした発展

都市と地域が、生物多様性と自然に基づく解決策を主流化し、グリーンとブルーのインフラと生物多様性保全に重点を置くことで、自然と調和した生活というグローバルな生物多様性と生態系の回復の目標に貢献できるよう支援します。



循環型発展

都市におけるサーキュラー・エコノミーの実践は、資源消費と廃棄物を削減するだけでなく、持続可能な生産・消費パターンを推進することによる排出量も削減します。



レジリエント(強靱)な発展

レジリエントなコミュニティとインフラを構築することで、持続可能な発展を促進しつつ、気候変動の影響に耐えることができます。





公平公正な発展



公平公正な発展は、国連2030アジェンダの目標に沿って、公正で包摂的かつ幸福なコミュニティの育成を目指すものです。公平公正な発展は、公正で住みやすく、幸福でインクルーシブな都市コミュニティを築き、貧困と不平等の根本的な原因に対処し、人間の生活を支える自然のシステムを保全します。都市内外の自然環境と建造環境の両方が、住みやすさと安全性を向上させ、人々の健康を促進し、疾病の感染を減らすことを確かなものにします。すべての人に安全で栄養豊富な食料、質の高い教育、清潔な水と衛生環境、持続可能なエネルギー、クリーンな大気環境、生産的な土壌、そして、気候に強いインフラへの公平なアクセスを提供します。さらに、多様性、独自のアイデンティティ、連帯が社会に組み込まれた、人が中心にあり、安全でレジリエントな、活気に満ちたコミュニティを育成します。

公平公正な発展のためのイクレイのグローバルな提案

マルメ・コミットメント(Malmö Commitment)は、持続可能な開発の中心に社会的公平性を据えた、イクレイが地方自治体向けに世界的に提供している取組の一つです。この取組は、「課題の特定」、「社会的公平性の指標のモニタリング」、「進捗状況の報告」、「近隣コミュニティを通じた取組の強化」という4段階のプロセスを経て、都市の変革に取り組む地方自治体を集めています。イクレイはまた、計画における公平性と包摂、レジリエンスと適応、マルチレベル・ガバナンスと協力、持続可能なモビリティと貨物輸送、循環型開発、調達、デジタル化、持続可能なエネルギー、エネルギーへのアクセス、そして都市システムに関して、地方自治体に政策戦略、技術的専門家、能力開発の支援を提供しています。

2024年におけるイクレイの公平公正な発展

79 Equitable Development Activities
where Equitable Development is the primary pathway

650+ from **38**
cities, towns and regions
involved in the activities



公平公正な発展を達成するために、イクレイ・ネットワークは次のことに取り組む：

- 清潔で健康的かつ持続可能な環境に対するすべての人の基本的権利を守ります。私たちは、持続可能な介入が意図せざる結果をもたらし、不平等や不公正なシステムを永続させる可能性があることを認識し、これらのリスクを軽減するために積極的に取り組めます。
- 清潔な水、安全な衛生設備、栄養価の高い食料、持続可能なエネルギー、インターネットへの安価なアクセスをすべての人に提供する気候レジリエントなインフラシステムを構築し、資源とサービスへの公平なアクセスを実現します。地域社会の健康と幸福を促進するため、質の高い医療、教育、住宅、きれいな空気、生産的な土壌、尊厳ある生活を確保するための総合的な近隣地域の開発を計画し、促進します。私たちは、持続可能な都市開発を達成するための重要な側面として、すべての住民が家の近くで緑豊かな施設を利用できるようにし、文化、遺産、精神性の役割を強調し支援します。
- 社会から疎外されたグループを含む、住民の有意義な参加を支援し、持続可能な変革の実施におけるコミュニティの役割を強化する政策、取組、公共投資を優先します。私たちは、コミュニティのすべての構成員が知見を持っていることを認識し、私たちの意思決定プロセスは、先住民、住民、研究者、政府、コミュニティ主導の取組や市民社会、アーティスト、企業家など、さまざまな形態の知識やエビデンスを重視し、それらに関与していきます。
- 地域のパートナー（労働者、労働組合、市民社会）と緊密に協力し、すべての人にとって公平な移行を実現します。経済と労働市場の大きな変化に直面する中、私たちは、地域社会を支え、不確実な時代にも繁栄できるようにするために必要な適応した生涯教育プログラムを実施します。
- ショック、ストレス要因、紛争、移住の社会的、経済的、環境的決定要因を認識し、その削減に取り組むことにより、平和、安全、安定を促進します。私たちは、気候変動による移住や強制移住の原因となりうる、あるいは原因となっている気候ストレス要因を積極的に削減する政策やプログラムを支援します。私たちは、気候正義の原則に基づき、世界的な制度的不公平に取り組みます。私たちは難民や移民を歓迎し、彼らが安全に、快適で有意義な生活を築き、私たちの都市文化や経済に貢献できるよう全力で支援します。
- すべての人々、特にエネルギー不足、エネルギー貧困、不安定な生計に直面している人々、女性、高齢者など、移行によって悪影響を受ける可能性のある人々のために、公正で利用しやすく、持続可能なエネルギーシステムを提唱します。



- モビリティに関する人間中心のアプローチと解決策を採用し、道路安全、公正な都市交通へのアクセス、公平で尊厳のある輸送関連の雇用、そして気候にやさしく公正なモビリティ企業を中心に据えた公正なモビリティの移行を推進します。
- 私たちの意思決定プロセスにおいて、ジェンダー主流化アプローチを取り入れ、複合的なジェンダー特有の脆弱性を認識します。私たちは、若者、大人、年長者の世代間の対話と学習を優先し、変革を推進する若者のエネルギー、知識、緊急性と、年長者の貴重な知識、経験、知恵の両方から恩恵を受けます。私たちは、若者の国家レベルの意思決定への正式な参加を確保し、彼らの社会と未来の改善に貢献する若いリーダーの成長を支援します。



ゼロカーボン発展は、気候変動を抑制し、新たな経済機会を生み出し、人々の健康と自然システムを改善します。ゼロカーボン発展の目標は気候中立の実現であり、それに向けた取組は温室効果ガスのみならず、汚染物質の排出量も削減されます。また、化石燃料からのダイベストメントと自然を基盤とした解決策(NbS)の活用を通じて再生可能エネルギーを推進します。ゼロカーボン発展を成功裏に実施する地方公共団体は、人を中心とした解決策の一環として、持続可能な交通手段や物流モビリティを支援し、歩行、自転車、公共交通機関、共有モビリティを優先しています。

ゼロカーボン発展のためのイクレイのグローバルな提案

世界規模で、ICLEI GreenClimateCities™プログラムとClimate Neutrality Frameworkは、統合的な気候変動対策(気候レジリエンス、適応、緩和の組み合わせ)を支援しています。クリアパス(ClearPath)やヒートプラス(HEATplus)のような地域や国レベルのツールや、自治体の温室効果ガス排出算定方法の国際的プロトコル(GPC)のようなグローバルなサポートが、気候変動対策や地域の持続可能なエネルギー転換を加速させる枠組を提供しています。CDP-ICLEI Trackは、都市における気候報告と進捗状況の説明責任を果たすための世界有数の気候報告プラットフォームです。これらのイクレイの取組は、世界気候エネルギー首長誓約(GCoM)、国連の「Race to Zeroキャンペーン」、WWFの「ワン・プラネット・シティ・チャレンジ」など、他の多くの取組のコミットメントを同時に履行する地方自治体を支援しています。

2024年におけるイクレイのゼロカーボン発展

223

Zero Emission Development Activities

where Zero Emission Development is the primary pathway

2500

cities, towns and regions

involved in the activities

105

from countries

1.9

Through ICLEI's TAP project pipeline, the ICLEI network submitted local priority climate infrastructure projects seeking the investment of

billion euro



ゼロカーボン発展を達成するために、イクレイ・ネットワークは次のことに取り組む：

- 住民、企業、産業界と協力し、政府および地域社会のあらゆる分野の活動において温室効果ガスの排出を大幅に削減します。パリ協定の目標を実現し、気温上昇を産業革命前より1.5℃上昇に抑える軌道を維持することを約束します。私たちの地域社会、政府のインフラ、運営において気候ニュートラルを達成することを目標に、私たちは2030年またはそれ以前に、科学的根拠に基づく目標を設定し、公平な責任分担を含むアプローチで、透明性と説明責任を高めます。
- エネルギー、輸送、水、廃棄物、食品システム、建築環境から発生する大気汚染、騒音、光害など、環境に有害な汚染物質を大幅に削減します。
- 私たちは、100%再生可能エネルギーの使用や化石燃料からの脱却を目指し、地域社会の福祉と生活に不可欠な、安価で信頼できるクリーンで安全な近代的エネルギー源の提供に努めます。私たちは、エネルギーの貧困に取り組み、持続可能なエネルギーへの移行が、その地域にふさわしく、社会的に敏感で、自然にやさしく、したがって公平で包摂的なものであることを保証することを約束します。
- デジタル化、モーダルシフト、行動変容などの対策を通じて、エネルギー損失、非効率、原単位を削減します。送電網や蓄電技術など、持続可能なエネルギーインフラへの投資を増加させます。
- 従来の資金源や革新的な資金源から資金を調達し、気候変動予算を効果的に管理できるように備えます。
- 地域・地方における調達の力を認識し、持続可能な公共調達において、ネット・ゼロ・エミッションへの移行を支援するサービス、技術、インフラ、ビジネスを優先していきます。
- ゼロエミッション且つ人と物資のための多様な輸送手段を優先する持続可能なアーバン・モビリティと物流計画を実施します。
- 効果的なあらゆる政府および社会全体の協働、優れたガバナンスとパートナーシップの確立を提唱し、計画から実施までを調整し、野心的な気候変動対策について年次報告を行います。

自然を基盤とした発展



自然を基盤とした発展は、自然や地球とのつながりを修復しながら、都市内外の生物多様性と生態系の健全性を尊重し、強化することで、人々が自然と調和して暮らせる、よりレジリエントな都市や地域を創造します。生態系は地域経済の基盤を形成するとともに、コミュニティの社会的健全性、福祉、そしてレジリエンスを支える上で重要な役割を果たします。

自然を基盤とした発展のためのイクレイのグローバルな提案

イクレイは、「自然を活かし、自然とともに、自然の中で、自然の一部として」という価値観を取り入れ、生物多様性と都市開発の専門家による熟練したダイナミックなチームを通じて、地方自治体に幅広いツールや支援サービスを提供しています。急速に都市化が進む世界において、自然資本、生物多様性の損失、生態系サービスの劣化をめぐる複雑な問題に対処するため、私たちは地域の解決策を模索し、革新的で自然主導の意思決定を促進します。CitiesWithNatureとRegionsWithNatureは、イクレイ、UNEP、IUCN、WWF、その他多数の協力パートナーによる共同イニシアティブであり、都市と地域が自然との調和を図るためのツールやベストプラクティス、リソースを利用し、共有するための世界的なプラットフォームです。このプラットフォームは、自然と再びつながり、自然との調和を取り戻し、人々が自然を活かし、自然と共に、自然の中で、そして自然の一部として成長し暮らすことができるための道を示すものです。

2024年におけるイクレイの自然を基盤とした発展



自然を基盤とした発展を達成するために、イクレイネットワークは次のことを取り組む：

▪ 私たちの空気、水、土壌、食料、そして生命と健康を支えるシステムを尊重し、保護し、育む、健全な地域環境の創造を優先する、あらゆる政府と社会全体による意欲的で野心的なイニシアティブを展開します。

自然を基盤とした発展



- 生物多様性を主流化し、計画、予算編成、意思決定プロセスにおける私たちの能力を高めることで、私たちの地域における新たな経済機会を創出します。これには、自然を基盤とした解決(グリーンおよびブルーインフラの解決策を含む)の採用や生態系の回復、生態学的連結性の促進、森林再生活動、生態系回復、水保全、保護地域、その他の効果的な地域保全措置の実施のための資源を創出することが含まれます。
- CitiesWithNatureとRegionsWithNatureのオンラインプラットフォームにおいて、都市と地域が参加して、自然との関わりを共有し、つながり、革新し、学び、現在と将来の世代、そして地球上のすべての生命のために都市と地域を再構築することを提唱します。両プラットフォーム上で生物多様性世界目標や生物多様性国家戦略及び行動計画(NBSAPs)に対するコミットメントに向けた進捗状況を報告・監視します。
- 水資源の責任ある管理と保全を優先し、すべての住民が清潔で安全な水を利用できるようにします。
- 健康的で持続可能な地元産食品の生産を優先し、土壌の生物多様性の保全、回復、持続可能な利用を促進し、マルチレベルの協力を通じて、包括的な食料政策を実施する地域の食料システムの構築に向けて取り組みます。
- 持続可能なエネルギー源への移行が急務であることを踏まえつつ、自然や生物多様性への影響が最も少ないプロジェクトを優先し、可能な限り両者を統合するよう努め、過去の化石燃料ベースのエネルギーシステムの過ちを避けます。
- 生物多様性関連条約への関与を強化し、世界的な生物多様性目標達成に向けた都市や地域のコミットメントを表明します。
- 世界保健機関(WHO)が推奨し、生物多様性条約のいくつかの決定で認められている「ワンヘルス・アプローチ(One Health approach)」を、計画や意思決定において採用し、実施することを奨励します。これは、人間の健康と幸福が地球の健康と幸福と本質的に結びついていることを認識することに基づいています。



循環型発展は、現在の「生産、消費、廃棄」という線形経済モデルから転換し、インフラ、製品、部品、材料、栄養素が可能な限り長く最高の価値を維持する経済へと移行します。このシステム的アプローチは、資源消費と廃棄物の生産を最小限に抑えつつ、経済的価値と成長の機会を創出し、社会的公平性と責任を高め、自然環境を改善することで、持続可能な都市環境を支援します。

循環型発展のためのイクレイのグローバルな提案

イクレイ・サーキュラー (ICLEI Circulars) は、サーキュラーシティ・アクション・フレームワークの5つのR(再考: Rethink、再生: Regenerate、削減: Reduce、再利用: Reuse、回復: Recover)を軸とした都市と地域のためのグローバル・プラットフォームです。私たちは、プラスチック汚染に関する政府間交渉委員会(世界プラスチック条約: Global Plastics Treaty)などの国際的な場において、都市や地域の権利を擁護しながら、さまざまな段階にある都市や地域に対し、循環型都市や地域へと変貌を遂げ、加速できるように、技術支援、研修、知識を提供しています。

2024年におけるイクレイの循環型発展



循環型発展を達成するために、イクレイネットワークは次のことを取り組む:

- 循環型の考えを行政の責務に組み込み、既存の政策、戦略、計画、調達プロセスに統合的な循環型アプローチを導入します。初期評価を活用し、データのギャップを理解し、介入策を拡大し、政策立案と実施を含む実行可能な循環型介入策への資金を確保します。
- 循環型発展戦略に取り組む市町村・地域の数を増やし、すでに循環型発展を実施している自治体との関与を深めます。
- 市の各部署、企業、コミュニティ組織、その他のステークホルダーと協力し、質の高いリソースやサービスへのアクセスを確保しながら、地域の雇用、イノベーション、誰も排除しないインクルーシブな繁栄を創出します。
- ガイダンスやインキュベーション、政策決定者との積極的なコミュニケーションを促進するプラットフォームを通じて、起業家を積極的に支援します。
- 特に循環型社会への移行によって悪影響を受ける可能性のある産業に対して、社会全体の公正な移行を確保することによって、より公平な社会への移行に貢献します。
- 民間セクターのパートナーとの協力により、政策分野でのイノベーション、持続可能性、循環型経済の原則の発展を促進し、地方レベルでの規制環境の整備に貢献します。
- 循環型発展と循環型経済に関連するグローバルな持続可能な開発プロセスにおける地方・地域政府の役割を主張し、マルチレベル・ガバナンスの必要性と、地方・地域レベルでの実施と資金調達のための政策を働きかけます。



レジリエントな発展とは、急速な環境、技術、社会、人口の変化によって引き起こされる衝撃やストレスを予測し、防止し、吸収し、回復することであり、基本的な対応構造と機能を向上させることを目的としています。レジリエントな発展は、適応とリスク防止をすべての自治体戦略の中核に据え、新たなリスクや影響に備えるとともに、社会の脆弱な層の権利とニーズを考慮します。また、透明性が高く包摂的なアプローチを通じて、公的機関への信頼を強化し続けることで、重要なシステムを強化します。さらに、レジリエントな発展は、社会経済的不平等と都市リスクを軽減することを目指し、これら両方の課題に同時に取り組む効果的かつ確かつ相互に連携した行動を促進します。その中心的な戦略は、都市における気候および災害リスク対応計画の野心を高め、多様な利害関係者を動員して協調した行動を実現することにあります。

レジリエントな発展のためのイクレイのグローバルな提案

イクレイは、レジリエンスの方法論とツールを地方自治体向けに提供しており、UNDRRの主要キャンペーンである「Making Cities Resilient 2030」のパートナーとして、レジリエンスを重視した行動や活動の設計と実施において、地方自治体を支援しています。

これらの取組は、地域全体のリスクと脆弱性(R&V)評価を確実に完了させ、適応とレジリエンスの原則を都市計画に組み込むことを奨励することで、国連「Race to Resilience」キャンペーンや他のパートナーの取組に参加する地方自治体を支援します。「シャルム・エル・シェイク適応アジェンダ(SAA)」の人間の居住に関するタスクフォースの共同リーダーとして、イクレイは、2030年までに40億人のためにレジリエンスを構築するための進捗状況の報告と成果目標の達成に貢献します。

2024年におけるイクレイのレジリエントな発展



レジリエントな発展を達成するために、イクレイネットワークは次のことに取り組む：

- 気候変動と都市のリスク管理を強化する統合的アプローチを通じて、レジリエントで、包摂的でジェンダーに配慮した、ゼロ・エミッションで且つ自然志向の都市、町、地域を構築し、貢献します。
- ショックやストレス、不測の変化を予防、吸収、回復し、人々や環境への負担を軽減するために、行政レベルでもコミュニティレベルでも、基本的なシステムを強化するために、自らの都市計画と実施能力を向上させます。
- 都市開発プロジェクトにおいて、グリーン・インフラと自然を基盤とした解決策の採用を推進し、レジリエンスを高め、環境への影響を軽減します。
- 予測の精度向上と土地利用とインフラの統合を促進し、予防を強化します。化石燃料に頼らない、より自律的な選択肢を含め、緊急時の輸送の優先順位を設定し、復興戦略を地域社会や企業に分散させ、テクノロジーを防災・対応計画に統合します。
- 気象機関や研究機関を含む関係ステークホルダーと協力し、早期警報システムを強化し、気候関連災害の予測可能性を向上させます。
- 重要なインフラやサービスの監視・管理を改善するための革新的な技術の導入を支援します。
- 特にジェンダーに配慮した包摂的な都市計画と管理の実践に重点を置いた能力開発と研修を推進します。
- 都市計画や災害管理におけるコミュニティ参画と参加型の意味決定プロセスを促進し、レジリエンスを高めます。また、学術機関や研究機関との連携を強化し、レジリエンス対策の評価・査定を実施し、エビデンスに基づく意思決定と継続的改善を図ります。

共通の利益のためのグロー バル・アドボカシー



共通の利益のためのグローバル・アドボカシー

イクレイは30年以上にわたり、都市、町、地域の総合力を継続的に強化し、持続可能な社会を実現するためにあらゆるレベルの政府と協力してきました。

イクレイは、地域事務局および各国事務所に50人以上のアドボカシーと外交の専門家を擁し、国や多国間レベルでこうしたアドボカシー活動を展開しています。

イクレイは、公正で持続可能な開発を達成するために、マルチレベルの行動と都市化の活用を提唱しています。私たちは、マルチレベルの協力とパートナーシップが、気候、自然、公害という同時多発的な危機に大きく対処することができ、地球規模の持続可能性を達成するための最も効果的な方法のひとつであると確信しています

イクレイは、世界的な意思決定プロセスに積極的に関与することにより、私たちのネットワークの利益を反映した合意を形成し、世界的な合意を迅速に実施するための具体的なパスウェイ(道筋)、パートナーシップ、プログラムを開発することを目指しています。

2030年目標を成功裏に達成するため、国連は包括的で透明性の高い意思決定と、効果的、効率的でインパクトのある持続可能な開発のための努力と改革を加速させています。特に2023年のSDGsサミットでは、ローカリゼーションを含む、国連全体の変革的な取組がいくつか強調されました。アジェンダ2030の残り数年間、イクレイは世界的な持続可能性ガバナンスに積極的に関与し、強化された国連システムやその他の政府間会合において、包括的な多国間主義を推進していきます。

これらの約束を果たすため、イクレイは4つの異なるアドボカシー・チャンネルを通じて、地方自治体の貢献、ニーズ、課題を高めています。

グローバル・アドボカシー・チャンネル#1: 気候、生物多様性、砂漠化の世界的な課題における地方自治体のアドボカシーを主導する

1992年の地球サミットでは、地方自治体を含む9つのステークホルダー・グループが、世界的な持続可能な開発アジェンダ、特に国連気候変動枠組条約(UNFCCC)、生物多様性条約(CBD)、砂漠化防止条約(UNCCD)に取り組むリオ条約の実施における重要なパートナーとして指定されました。自治体と地方行政機関の発言枠(LGMA)は、地方自治体のネットワークで構成され、気候、自然、砂漠化のプロセスにおけるマルチレベル行動のためのアドボカシー活動で成功を収め続けています。

イクレイは、LGMAフォーカスポイントとして、この分野で特別な役割を担っています。過去30年にわたり、LGMAコミュニティの中で協調的なリーダーシップを発揮してきた結果、2021年の戦略ビジョン以降、すべての気候変動会議(COP)の交渉成果、自主的な成果、公式議題、確立された優先事項の中で、マルチレベル行動と都市化について具体的に言及するなど、多くの気候変動COPの成果で勝利を収めることができました。これには、COP26グラスゴー気候合意やCOP28アラブ首長国連邦(UAE)コンセンサスの交渉成果の中での、マルチレベル行動への明確な言及が含まれます。COP議長国から強力な支持を受けた自主的な取組には、2021年の「Cities Race-to-Resilience」、2022年の「Sustainable Urban Resilience for the Next Generation: SURGe」、2023年の「Coalition for High Ambition Multilevel Partnerships: CHAMP」があります。

イクレイは、「都市化と気候変動に関する閣僚会議」をCOP公式アジェンダに含めることやCOP28で「地域気候行動サミット(LCAS)」の開催を支持し、COP26、COP27、COP28で「マルチレベル行動と都市化パビリオン」を開設・運営するなど、COPプロセスにおいて都市、町、地域が声を上げるために、重要な役割を果たしてきました。COP28は、特にマルチレベルの協力にとって画期的なものでした。COP28の成果でマルチレベル行動に強く言及していることは、持続可能で公平かつレジリエントな発展を達成するために、各国政府がすべてのサブナショナル政府を巻き込んで統合的な気候行動を強化すべきであることを意味します。イクレイ・ネットワークは、各国政府が次回の「国が決定する貢献(NDC)」にマルチレベル行動を盛り込み、その野心レベルを高めることに対して支援する用意があります。

また、生物多様性の分野でも私たちのネットワークの関心を高めています。イクレイは、都市と地域の野心を擁護してきた長い歴史があり、2008年以来、生物多様性COPの公式なパラレルイベントとして自治体サミットを開催し、成功を収めてきました。イクレイのアドボカシー活動により、生物多様性条約締約国会議(CBD COP)において、生物多様性条約(CBD)、生物多様性国際目標、生物多様性国家戦略及び行動計画(NBSAPs)の実施に向けた地方自治体の役割と貢献を認める決議が採択される機会が増えています。2008年以降、締約国によって20以上の決議が採択されました。

2010年に名古屋で開催されたCOP10では、「生物多様性のためのサブナショナル政府、都市、その他の地方自治体に関する行動計画」が初めて採択されました。2022年にモントリオールで開催されたCOP15では、昆明・モントリオール生物多様性枠組(GBF)の実施推進における私たちの重要な役割が評価され、私たちの構成員にとって歴史的な節目となりました。この強力な支援は、GBFの実施にサブナショナル政府や地方自治体を関与させるための、より強力で野心的な決定と行動計画の採択に表れています。この決定はまた、都市や地域が自発的なコミットメントを国や世界の生物多様性目標に対して監視・報告し、その貢献を国の報告書に含めるためのプラットフォームとしてCitiesWithNature(CWN)とRegionsWithNature(RWN)を認めています。

さらに、COP15のさまざまな決定やGBFには、サブナショナル政府や地方自治体の役割の認識に関する言及があり、初めて地方自治体に特化した目標が盛り込まれました。名古屋とモントリオールの行動計画は、諮問委員会の設置やグローバル・パートナーシップを通じたマルチレベル・ガバナンスのメカニズムを含んでいる点で重要であり、これは3つのリオ条約の中でもユニークなものです。

UNCCDの下では、イクレイは特に土地の劣化と干ばつを気候や生物多様性の目標と関連付けることに注力しています。

グローバル・アドボカシー・チャンネル #2:

地方自治体に関するグローバル・タスクフォースと連携し、国連システムとの戦略的パートナーシップを推進する

この12年間、国連システムは、社会・経済開発から、移住など持続可能な開発につながるその他のプロセスまで、地方自治体との協力を拡大してきました。地方自治体は現在、国連環境総会、国連人間居住計画(UN-Habitat)総会、ハイレベル政治フォーラムなどのプロセスに関与しています。イクレイは、これらのプロセスにおける戦略的パートナーシップを通じて、私たちの構成員の利益を支援し、地方自治体の世界的な認知度を高めています。

イクレイは、世界都市自治体連合(United Cities and Local Governments: UCLG)とともに、サブナショナルな問題を提唱する包括的なメカニズムである「地方自治体のグローバル・タスクフォース(Global Task Force of Local and Regional Governments)」の創設パートナーです。

さらに、多くの国連プログラム、国連機関、条約事務局がイクレイと緊密に連携し、持続可能な都市開発に関するイクレイの実践的な活動を促進しています。これらのパートナーシップには、UNEP、UN-Habitat、UNDRR、FAO、WHO、その他の多国間環境合意、国連地域委員会などが含まれます。

グローバル・アドボカシー・チャンネル #3: マルチレベルの持続可能な開発の優先事項を強化するために、世界的な政治アジェンダに関与する

国連システムにおける意思決定の多くは、コンセンサスと信頼構築に依存していますが、これは国連以外の場でも起こりうることです。実際、G7やG20のような国連システム外のメカニズムは、外交手続きにおいてより柔軟であり、各国が協力や同盟の分野を理解するのに役に立ちます。イクレイはこのようなプロセスに積極的に参加し、マルチレベル行動の対話と協力を支援しています。

グローバル・アドボカシー・チャンネル #4:

国・地域レベルでのアドボカシーと資金への直接アクセスの強化

国連での決定や合意は、それが国レベルで受け入れられ、実行のための資金が確保された場合に限り、行動に影響を与えることができます。イクレイは、欧州連合(EU)、アフリカ連合(AU)、汎アマゾン都市フォーラム(Forum of Pan-Amazonian Cities)、多国間開発銀行などの金融機関など、国や地域、超国家的な機関と具体的な関係やパートナーシップを築いてきました。



最後に



最後に

持続可能な開発こそが、今日の世界において唯一実現可能な道である

私たちは、持続可能な開発のためのグローバルな行動を加速させるために、先見性のあるリーダーシップと政治的支援を提供します。私たちは模範を示し、オープンに知識を共有し、声を一つにして発言します。私たちは、持続可能性を恒久的な枠組とし、あらゆる開発の意思決定に反映させるための、永続的な変革のメカニズムを構築します。この世界的な課題は、政治的な変化により、いつでも脆弱になる可能性があり、私たちは、前進するための強固な力が必要です。

イクレイ戦略ビジョン2024-2030は、地域のサイズや政府レベルに関係なく、持続可能な開発モデルがすでに導入されているか、これから導入されるか否かにかかわらず、イクレイ会員が持続可能な行動を包括的に計画し、実施するための戦略的方向性を示しています。この時代において、地方自治体、国家政府は、前例のない新たな持続可能性の課題が増え続ける中でも、包摂的で安全、レジリエントで豊かな地域社会を創造するために、気候、エネルギー、自然、土地、健康に関する緊急の行動を推進し続けるために、イクレイがネットワークとしての総合的な強みをどのように活用していくかを示しています。

この戦略的ビジョンを実現するために、イクレイが実施する具体的な取組は、[デジタル版「イクレイ・アクションプラン2024-2027」](#)に詳述されており、プログラム、プロジェクト、取組、リサーチ、ツール、方法論、パートナーシップ、イベント、能力開発、アドボカシー活動をまとめています。これは、イクレイの活動が会員各自の持続可能な開発行動計画の策定や改善をいかに支援しているかを示すリストです。

私たちの歩みは、環境スチュワードシップ（環境保護）と社会的公平に対する私たちの共通のコミットメントを反映する重要な節目で彩られています。イクレイ会員の取組は、環境への影響を緩和するだけでなく、住民の生活の質を向上させています。持続可能性と包摂性の原則に基づいたこれらの取組は、私たちのネットワークが模範を示してリードする能力を実証しています。

しかし、前途は依然として厳しいです。世界的な不安の恐怖、気候変動と生物多様性の危機という厳しい現実、そして深刻化する不平等の格差は、新たな目的意識と緊急性を求めています。

この困難な時代において、私たちのネットワークの強さ、つまり多様性における結束は、私たちの最も貴重な資産となります。私たちはともに、この複雑な状況を乗り切るための知恵、資源、決意を結集しています。私たちの協力は影響力を増幅させ、個々の行動を力強い変革へと変えるのです。

希望と決意を持って次の章に踏み出しましょう。私たちが直面する課題は困難ですが、前向きな変化をもたらす機会は無限にあります。協力関係を促進し、イノベーションを受け入れ、私たちが共有する価値観を堅持することで、私たちは持続可能でレジリエントかつ包摂的な都市、町、地域を世界中に創造するというビジョンを実現することができます。私たちは、ネットワークの力を活用し、真の持続可能性への道を切り拓きながら、変化し続ける世界をリードしていきます。



「私たちが直面する課題は困難ですが、前向きな変化をもたらすチャンスは無限にあります。私たちはともに、真の持続可能性への道を切り開くために、ネットワークの力を活用し、変化し続ける世界をリードしていきます。」



